

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-157314

(43)Date of publication of application : 31.05.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G07G 1/12

(21)Application number : 2000-350165

(71)Applicant : NTT COMWARE CORP

(22)Date of filing : 16.11.2000

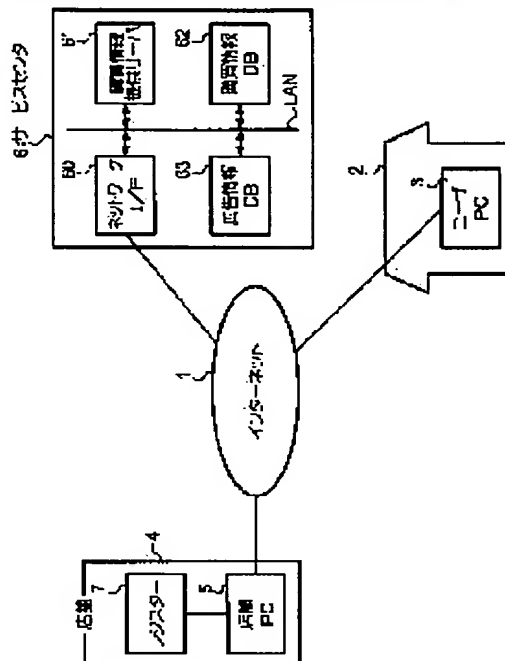
(72)Inventor : SAKAI TAKESHI

(54) METHOD AND DEVICE FOR SUPPLYING PURCHASE INFORMATION, AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a user to easily and accurately use information related with purchase when the user purchases merchandise or the like.

SOLUTION: When a user purchase merchandise or the like at a store 4, fare adjustment processing is executed by a register 7, and the purchase information is supplied to a store PC 5. The purchase information is uploaded from the store PC 5 through an Internet 1 to a server center 6, and stored in a purchase information data base 62. Then, when the user goes back to his or her own house 2, and performs access through the Internet 1 to the server center 6 by using a user PC 3, the purchase information can be downloaded through the Internet 1 so as to be read and used.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 16.11.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 15.04.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-157314

(P2002-157314A)

(43)公開日 平成14年5月31日(2002.5.31)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコト [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 1 8	G 0 6 F 17/60	1 1 8 3 E 0 4 2
	1 7 6		1 7 6 C 5 B 0 4 9
	3 2 6		3 2 6
	5 0 2		5 0 2
G 0 7 G 1/12	3 6 1	G 0 7 G 1/12	3 6 1 Z
審査請求 有 請求項の数17 O L (全 13 頁)			

(21)出願番号 特願2000-350165(P2000-350165)

(22)出願日 平成12年11月16日(2000.11.16)

(71)出願人 397065480

エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
東京都港区港南一丁目9番1号

(72)発明者 酒井 剛

東京都港区港南一丁目9番1号 エヌ・テ
ィ・ティ・コムウェア株式会社内

(74)代理人 100098084

弁理士 川▲崎▼ 研二

Fターム(参考) 3E042 BA08 BA09 CC03 CC10 CD04
CD10 CE07 EA01

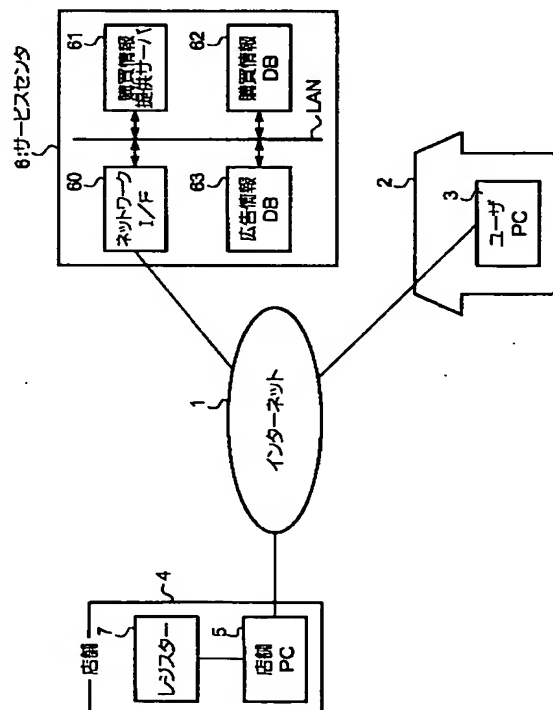
5B049 BB13 BB49 CC31 CC50 GG04
GG07

(54)【発明の名称】 購買情報供給方法、購買情報供給装置および記録媒体

(57)【要約】

【課題】 ユーザが商品等を購買した場合に、当該購買に関する情報をユーザが容易かつ正確に利用する。

【解決手段】 ユーザが店舗4で商品等を購買すると、レジスター7で清算処理が行われると共に、その購買情報が店舗PC5に供給される。店舗PC5はその購買情報をインターネット1を介してサービスセンタ6にアップロードし、購買情報が購買情報データベース62に格納される。そして、ユーザが家2に戻り、ユーザPC3を用いてインターネット1を介してサービスセンタ6にアクセスすると、購買情報をインターネット1を介してダウンロードしたり、閲覧したりして利用することができるようになっている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザが店舗で商品、サービスもしくは両者（以下、商品等という）を購入した場合に、ユーザ端末装置にネットワークを介して購買情報管理装置から当該購買に関する情報を供給する方法であって、前記店舗でユーザが商品等の購買をした場合に、店舗側端末装置において当該購買の日付、購買した商品等、および購買金額を示す情報を含む購買情報と、購買したユーザを特定するためユーザ情報とを作成する購買情報作成ステップと、

前記購買情報作成ステップで作成された前記購買情報および前記ユーザ情報を、ネットワークを介して前記購買情報管理装置に送信する送信ステップと、

前記購買情報管理装置における前記ユーザ情報により特定されるユーザに予め割り当てられた記憶領域に前記購買情報を格納する格納ステップと、

前記ユーザ端末装置から前記ネットワークを介して前記購買情報管理装置に前記購買情報の送信要求がなされた場合に、前記記憶領域に格納された前記購買情報を読み出し、前記ユーザ端末装置に前記ネットワークを介して前記購買情報を供給する供給ステップとを具備することを特徴とする購買情報供給方法。

【請求項 2】 前記供給ステップでは、前記購買情報を、前記端末装置において所定の表示形式にしたがって表示されるデータに編集して供給することを特徴とする請求項 1 に記載の購買情報供給方法。

【請求項 3】 前記供給ステップでは、広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の購買情報供給方法。

【請求項 4】 前記供給ステップでは、購買した商品等に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 3 に記載の購買情報供給方法。

【請求項 5】 前記供給ステップでは、購買したユーザに応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 3 に記載の購買情報供給方法。

【請求項 6】 前記供給ステップでは、購買したユーザの過去の購買情報を分析し、当該分析結果に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 5 に記載の購買情報供給方法。

【請求項 7】 前記購買情報作成ステップでは、前記店舗側端末装置は、ユーザによる購買の清算処理と並行して前記購買情報を作成する処理を行うことを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の購買情報供給方法。

【請求項 8】 前記ネットワークは、インターネットであることを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の購買情報供給方法。

【請求項 9】 前記ユーザが購買した商品等が食品である場合には、前記購買情報作成ステップでは、当該食品の賞味期限を示す情報を含む前記購買情報を作成するこ

とを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の購買情報供給方法。

【請求項 10】 ユーザが店舗で商品、サービスもしくは両者（以下、商品等という）を購入した場合に、当該購買に関する情報をネットワークを介してユーザ端末装置に供給する購買情報供給装置であって、ユーザ毎に割り当てられた記憶領域を有するデータベースと、

前記店舗でユーザが商品等の購買をした場合に、店舗側端末装置から前記ネットワークを介して送信される当該購買の日付、購買した商品等、および購買金額を示す情報を含む購買情報と、購買したユーザを特定するためのユーザ情報とを受信する受信手段と、

前記データベースにおける前記受信手段によって受信された前記ユーザ情報により特定されるユーザに予め割り当てられた記憶領域に、前記受信手段によって受信された前記購買情報を格納する格納手段と、

ユーザ端末装置から前記ネットワークを介して前記購買情報の送信要求がなされた場合に、前記記憶領域に格納された前記購買情報を読み出し、前記ユーザ端末装置に前記ネットワークを介して前記購買情報を供給する供給手段とを具備することを特徴とする購買情報供給装置。

【請求項 11】 前記供給手段は、前記購買情報を前記端末装置において所定の表示形式にしたがって表示されるデータに編集して供給することを特徴とする請求項 10 に記載の購買情報供給装置。

【請求項 12】 前記供給手段は、広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 10 または 11 に記載の購買情報供給装置。

【請求項 13】 前記供給手段は、購買した商品等に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 12 に記載の購買情報供給装置。

【請求項 14】 前記供給手段は、購買したユーザに応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 12 に記載の購買情報供給装置。

【請求項 15】 前記供給手段は、購買したユーザの過去の購買情報を分析し、当該分析結果に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴とする請求項 14 に記載の購買情報供給装置。

【請求項 16】 前記受信手段は、前記店舗側端末装置からインターネットを介して送信される前記購買情報およびユーザ情報を受信することを特徴とする請求項 10 ないし 15 のいずれかに記載の購買情報供給装置。

【請求項 17】 ユーザが店舗で商品、サービスもしくは両者（以下、商品等という）を購入した場合に、当該購買に関する情報をネットワークを介してユーザ端末装置に供給する購買情報供給装置に実行させるプログラムを格納した記憶媒体であって、

前記店舗でユーザが商品等の購買をした場合に、店舗側端末装置から前記ネットワークを介して送信される当該

購買の日付、購買した商品等、および購買金額を示す情報を含む購買情報と、購買したユーザを特定するためのユーザ情報とを受信する受信処理と、

所定のデータベースにおける前記ユーザ情報により特定されるユーザに予め割り当てられた記憶領域に、所定の認証処理を経て許可されたユーザ端末装置がネットワークを介して利用可能に前記購買情報を格納する格納処理とを具備することを特徴とするプログラムを記憶した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ユーザが商品等を購買した際の、購買日付、購買商品および購買金額等の購買に関する購買情報をユーザに供給する購買情報供給方法、購買情報供給装置および記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】店舗でユーザが商品等を購買した場合、購買した商品、数量、購買日時、購買金額等の購買に関する情報が店舗に設置されたレジスターによって処理され、当該購買内容が記述されたレシートがユーザに手渡されるのが一般的である。

【0003】ユーザが家計簿を作成する際には、購買をした店舗において手渡されたレシートを家に持ち帰り、当該レシートの記述内容を参照しながら、家計簿帳に購買内容等を記述するといった手法が行われていた。しかしながら、このような手法では、ユーザが購買に関する情報を家計簿帳に記入するといった煩雑な作業が必要となると共に、日単位や月単位といった収支等の計算は、ユーザが計算機等を利用して計算しなくてはならず、記入ミスや計算ミスによって正確な家計簿が作成できない場合もある。

【0004】そこで、上記のような家計簿帳の記入といった家計簿の作成手法に代わり、パーソナルコンピュータ上で起動される家計簿ソフトウェアが普及している。このような家計簿ソフトウェアでは、単純にパーソナルコンピュータのキーボード等から入力された購買に関する情報を所定の表示形式で表示されるといった機能だけではなく、月単位の収支や年単位の収支等が自動的に算出して表示するといった機能を備えており、ユーザにとっては大変便利である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のパーソナルコンピュータ上で起動される家計簿ソフトウェアを利用した場合にも、購買に関する情報の入力は、上記のように店舗から手渡されたレシートを参照したユーザの手入力によって行われており、当該入力作業は煩雑であるとともに、入力ミスが発生するおそれもある。

【0006】本発明は、上記の事情を考慮してなされたものであり、ユーザが商品等を購買した場合に、当該購買に関する情報をユーザが容易かつ正確に利用すること

ができる購買情報供給方法、購買情報供給装置、および記憶媒体を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明の請求項1に記載の購買情報供給方法は、ユーザが店舗で商品、サービスもしくは両者（以下、商品等という）を購買した場合に、ユーザ端末装置にネットワークを介して購買情報管理装置から当該購買に関する情報を供給する方法であって、前記店舗でユーザが商品等の購買をした場合に、店舗側端末装置において当該購買の日付、購買した商品等、および購買金額を示す情報を含む購買情報と、購買したユーザを特定するためユーザ情報とを作成する購買情報作成ステップと、前記購買情報作成ステップで作成された前記購買情報および前記ユーザ情報を、ネットワークを介して前記購買情報管理装置に送信する送信ステップと、前記購買情報管理装置における前記ユーザ情報により特定されるユーザに予め割り当てられた記憶領域に前記購買情報を格納する格納ステップと、前記ユーザ端末装置から前記ネットワークを介して前記購買情報管理装置に前記購買情報の送信要求がなされた場合に、前記記憶領域に格納された前記購買情報を読み出し、前記ユーザ端末装置に前記ネットワークを介して前記購買情報を供給する供給ステップとを具備することを特徴としている。

【0008】また、請求項2に記載の購買情報供給方法は、請求項1に記載の購買情報供給方法において、前記供給ステップでは、前記購買情報を、前記端末装置において所定の表示形式にしたがって表示されるデータに編集して供給することを特徴としている。

【0009】また、請求項3に記載の購買情報供給方法は、請求項1または2に記載の購買情報供給方法において、前記供給ステップでは、広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0010】また、請求項4に記載の購買情報供給方法は、請求項3に記載の購買情報供給方法において、前記供給ステップでは、購買した商品等に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0011】また、請求項5に記載の購買情報供給方法は、請求項3に記載の購買情報供給方法において、前記供給ステップでは、購買したユーザに応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0012】また、請求項6に記載の購買情報供給方法は、請求項5に記載の購買情報供給方法において、前記供給ステップでは、購買したユーザの過去の購買情報を分析し、当該分析結果に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0013】また、請求項7に記載の購買情報供給方法は、請求項1ないし6のいずれかに記載の購買情報供給

方法において、前記購買情報作成ステップでは、前記店舗側端末装置は、ユーザによる購買の清算処理と並行して前記購買情報を作成する処理を行うことを特徴としている。

【0014】また、請求項8に記載の購買情報供給方法は、請求項1ないし8のいずれかに記載の購買情報供給方法において、前記ネットワークは、インターネットであることを特徴としている。

【0015】また、請求項9に記載の購買情報供給方法は、請求項1ないし8のいずれかに記載の購買情報供給方法において、前記ユーザが購買した商品等が食品である場合には、前記購買情報作成ステップでは、当該食品の賞味期限を示す情報を含む前記購買情報を作成することを特徴としている。

【0016】また、請求項10に記載の購買情報供給装置は、ユーザが店舗で商品、サービスもしくは両者（以下、商品等という）を購買した場合に、当該購買に関する情報をネットワークを介してユーザ端末装置に供給する購買情報供給装置であって、ユーザ毎に割り当てられた記憶領域を有するデータベースと、前記店舗でユーザが商品等の購買をした場合に、店舗側端末装置から前記ネットワークを介して送信される当該購買の日付、購買した商品等、および購買金額を示す情報を含む購買情報と、購買したユーザを特定するためのユーザ情報とを受信する受信手段と、前記データベースにおける前記受信手段によって受信された前記ユーザ情報により特定されるユーザに予め割り当てられた記憶領域に、前記受信手段によって受信された前記購買情報を格納する格納手段と、ユーザ端末装置から前記ネットワークを介して前記購買情報の送信要求がなされた場合に、前記記憶領域に格納された前記購買情報を読み出し、前記ユーザ端末装置に前記ネットワークを介して前記購買情報を供給する供給手段とを具備することを特徴としている。

【0017】また、請求項11に記載の購買情報供給装置は、請求項10に記載の購買情報供給装置において、前記供給手段は、前記購買情報を前記端末装置において所定の表示形式にしたがって表示されるデータに編集して供給することを特徴としている。

【0018】また、請求項12に記載の購買情報供給装置は、請求項10または11に記載の購買情報供給装置において、前記供給手段は、広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0019】また、請求項13に記載の購買情報供給装置は、請求項12に記載の購買情報供給装置において、前記供給手段は、購買した商品等に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0020】また、請求項14に記載の購買情報供給装置は、請求項12に記載の購買情報供給装置において、前記供給手段は、購買したユーザに応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0021】また、請求項15に記載の購買情報供給装置は、請求項14に記載の購買情報供給装置において、前記供給手段は、購買したユーザの過去の購買情報を分析し、当該分析結果に応じた前記広告情報を含む前記購買情報を供給することを特徴としている。

【0022】また、請求項16に記載の購買情報供給装置は、請求項10ないし15のいずれかに記載の購買情報供給装置において、前記受信手段は、前記店舗側端末装置からインターネットを介して送信される前記購買情報およびユーザ情報を受信することを特徴としている。

【0023】また、請求項17に記載の記録媒体は、ユーザが店舗で商品、サービスもしくは両者（以下、商品等という）を購買した場合に、当該購買に関する情報をネットワークを介してユーザ端末装置に供給する購買情報供給装置に実行させるプログラムを格納した記憶媒体であって、前記店舗でユーザが商品等の購買をした場合に、店舗側端末装置から前記ネットワークを介して送信される当該購買の日付、購買した商品等、および購買金額を示す情報を含む購買情報と、購買したユーザを特定するためのユーザ情報とを受信する受信処理と、所定のデータベースにおける前記ユーザ情報により特定されるユーザに予め割り当てられた記憶領域に、所定の認証処理を経て許可されたユーザ端末装置がネットワークを介して利用可能に前記購買情報を格納する格納処理とを具備することを特徴とするプログラムを記憶している。

【0024】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施形態について説明する。

A. 実施形態の構成

まず、図1は本発明の一実施形態に係る購買情報供給方法を利用したネットワークサービスが実施されるネットワークシステムの全体構成を示す。同図に示すように、このネットワークシステムでは、インターネット1に、当該サービスの利用契約を行っているユーザの家2内に設置されるユーザパーソナルコンピュータ（以下、ユーザPCという）3と、お客に商品やサービスを提供する店舗4内に設置される店舗パーソナルコンピュータ（以下、店舗PCという）5と、当該ネットワークサービスを管理制御するサービスセンタ（購買情報供給装置）6とが接続されている。なお、ユーザPC3や店舗PC5は、公衆電話網やインターネットサービスプロバイダ等を介してインターネット1に接続しているが、これらの図示は省略する。

【0025】ここで、サービスセンタ6によって管理制御される当該ネットワークサービスは、当該サービスに契約しているユーザが店舗4でショッピング等を行った場合に、購買した商品、購買日時、購買金額等の購買に関するデータ化された購買情報を家計簿形式に編集してユーザPC3に供給し、ユーザが利用できるようにするサービスである。なお、図示では、説明簡略化のため、

1つのユーザPC3がインターネット1に接続されており、また1つの店舗PC5のみがインターネット1に接続されているが、このようなネットワークサービスの提供を受けるユーザや、店舗4は複数であってもよい。

【0026】図2に示すように、ユーザPC3は、各種演算処理を行うとともに各部を制御するCPU（中央処理装置）120、CPU120のワークメモリとして使用されるRAM（Random Access Memory）121、CPU120に読み出されて実行されるプログラム群を格納したROM（Read only Memory）122、CPU120に読み出されて実行されるオペレーティングシステム

（例えば、「Windows95/98/2000」（マイクロソフト社））やアプリケーションプログラム等のプログラム群を格納したハードディスク123、ユーザに対して画像を表示する液晶ディスプレイ等の表示部124、CPU120から供給されたデータに応じた画像を表示部124に表示させるための表示用インタフェース125、ユーザが指示を入力するためのキーボードおよびマウス等の操作部126、操作部126を介して入力された指示を表すデータをCPU120へ供給する操作部用インタフェース127、図示せぬ電話網等を介してインターネット1（図1参照）に接続された装置との間でデータの授受を行うネットワークインターフェース128を備えている。なお、ハードディスク123はCPU120に読み書きされるものであり、各種データの保管にも使用される。

【0027】ユーザPC3は、図示せぬ電源の投入や操作部126により入力されるユーザの指示に基づいてCPU120がROM122及びハードディスク123に格納された各種アプリケーションプログラムを実行することにより、様々な機能を実現することができるようになされている。ここで、ユーザPC3のハードディスク123には、WWW（World Wide Web）ブラウザソフトウェア、例えばマイクロソフト社の「Internet Explorer」や、ネットスケープ社の「Netscape Navigator」（商標）などがインストールされており、これによりインターネット1（図1参照）を介してサービスセンタ6との間でHTML（Hyper Text Markup Language）形式のデータの授受を行うことができ、上記形式のデータで表現されるWebページをサービスセンタ6側からダウンロードして表示部124に表示することができるようになっている。

【0028】図3に示すように、店舗PC5は、各種演算処理を行うとともに各部を制御するCPU（中央処理装置）220、CPU220のワークメモリとして使用されるRAM（Random Access Memory）221、CPU220に読み出されて実行されるプログラム群を格納したROM（Read only Memory）222、CPU220に読み出されて実行されるオペレーティングシステム（例えば、「Windows95/98/2000」（マイクロソフト社））

やアプリケーションプログラム等のプログラム群を格納したハードディスク223、ユーザに対して画像を表示する液晶ディスプレイ等の表示部224、CPU220から供給されたデータに応じた画像を表示部224に表示させるための表示用インタフェース225、ユーザが指示を入力するためのキーボードおよびマウス等の操作部226、操作部226を介して入力された指示を表すデータをCPU220へ供給する操作部用インタフェース227、図示せぬ電話網等を介してインターネット1（図1参照）に接続された装置との間でデータの授受を行うネットワークインターフェース228、店舗4（図1参照）内に設置されたレジスタ7との間でデータの授受を行うインターフェース229、店舗4内のレジスタ7で購買に関する清算処理を行ったユーザを特定するユーザ認識部230を備えている。なお、ハードディスク223はCPU220に読み書きされるものであり、各種データの保管にも使用される。

【0029】店舗PC5のハードディスク223には、ユーザの購買に関する購買情報を作成してサービスセンタ6側にアップロードする処理を行うための購買情報アップロードアプリケーションがインストールされており、CPU220が当該購買情報アップロードアプリケーションを実行することにより、当該サービスに契約しているユーザによって購買がなされた場合に、当該購買に関する情報、当該店舗4の広告情報、および付加情報を含む購買情報と、当該購買を行ったユーザを特定するためのユーザ情報を作成し、定期的に当該購買情報およびユーザ情報を対応付けてインターネット1を介してサービスセンタ6側に送信する。

【0030】ここで、購買情報に含まれる購買に関する購買日時、購買商品、数量、購買金額等の情報は、購買に関する清算処理を行うレジスタ7から清算処理中にインターフェース229から供給される情報を利用し、広告情報や付加情報は、ハードディスク223上に予め構築されている広告情報データベースや付加情報データベースを参照することにより作成される。

【0031】本実施形態では、購買に関する情報としては、購買年月日時刻、購買商品名（サービスを購入した場合はサービス名となるが、以下においてはサービスを含めて商品と称することとする）、購買商品の購買数量、各購買商品毎の小計金額、当該購買の合計金額、税金（消費税等）、クレジットカードを使用する場合はクレジットカード番号等のクレジットカードに関する情報、購買を行った店舗を特定するための店舗情報等であり、これらの情報を含む購買情報が作成される。

【0032】また、広告情報は、当該店舗の商品等を広告する情報であり、予めハードディスク223に構築されている広告情報データベースに格納されている広告情報を参照し、購買を行ったユーザに応じた広告情報が作成される。具体的には、広告情報データベースには、当

該店舗4で販売される多くの商品に関する広告情報が登録されており、これらの多くの商品の広告情報の中からユーザの購買内容、すなわち購買した商品と同一および類似する商品の広告情報を抽出する。このようにユーザの購買内容に応じて広告情報を抽出することにより、ユーザの嗜好等をある程度考慮した広告情報の抽出が可能となり、店舗4側にとっては効果的に広告供給が可能となる。また、ユーザにとっても有益な広告情報を取得することができるといった効果が得られる。

【0033】また、付加情報とは、購買日時における天気情報（天候や気温等）や、ユーザが購買した商品が食品である場合にはその賞味期限情報などである。

【0034】ユーザ認識部230は、当該店舗PC5と接続されるレジスター7で買い物の清算処理を行ったユーザを特定する。ユーザ認識部230によるユーザの特定方法としては、当該サービスを受けるユーザが所持しているユーザIDが記憶された磁気カードやIC（Integrated Circuit）カードを読み取る方法であってもよいし、ユーザの指紋、音声、顔などからユーザを特定するといったバイオメトリクス技術を利用した方法であってもよい。また、支払いにクレジットカードが使用された場合には、当該クレジットカード番号からユーザを特定するようにしてもよく、そのユーザの認識方法は任意である。

【0035】レジスター7は、一般的なレジスターと同様に一般的なレシート作成を含む清算処理を行う機能を備えたとともに、上述したように店舗PC5との間でデータの授受を行うインターフェース（例えば、RS（Recommended Standard）-232C、USB（Universal Serial Bus）、IrDA（Infrared Data Association）等）を有しており、購買日付、購買商品、数量、購買金額といった購買に関する情報を店舗PC5に送信するとともに、当該購買に関する情報を記述したレシートを作成する。これによりレジスター7による清算処理と上記店舗PC5による購買情報作成処理が並行して行われるようになっている。

【0036】図1に戻り、サービスセンタ6は、互いにLAN（Local Area Network）に接続されるネットワークインターフェース60、購買情報提供サーバ61、購買情報データベース62および広告情報データベース63を備えており、購買情報提供サーバ61や購買情報データベース62は、ネットワークインターフェース60を介してインターネット1に接続されたユーザPC3や店舗PC5との間で各種データの送受信を行うことができるようになっている。

【0037】購買情報データベース62は、当該サービスの提供を受ける契約を行っている各ユーザに割り当てられた記憶領域を有している。上述したように店舗PC5によって作成された購買情報がサービスセンタ6側にアップロードされた場合、当該購買情報に対応づけられ

てアップロードされたユーザ情報により特定されるユーザの記憶領域に、アップロードされた購買情報を格納する。また、購買情報データベース62の各ユーザ毎の記憶領域には、上述したような購買がなされた場合に店舗4の店舗PC5からアップロードされた購買情報を格納するエリア以外にも、当該ユーザの個人情報（例えば、嗜好情報、家族構成、性別、年齢、住所など）が格納されたエリアがあり、購買情報提供サーバ61によってユーザPC3に提供される購買情報には、この個人情報に応じて広告情報データベース63から抽出された広告情報が含まれることになる。

【0038】広告情報データベース63は、当該サービスを提供する事業者と契約している全ての店舗4から登録されている全ての広告情報を格納したデータベースであり、上述したように購買情報提供サーバ61によって当該広告情報データベースに格納されている広告情報の中から各ユーザに応じた広告情報が抽出されるようになっている。なお、広告情報データベース63に格納された広告情報は定期的に更新され、その更新方法としては店舗PC5からインターネット1を介して広告情報データベース63に記憶された自店舗の広告情報を書き換えるといった手法でもよいし、サービスセンタ6側のオペレータが店舗4からの指示にしたがって広告情報を書き換えるといった手法であってもよい。

【0039】購買情報提供サーバ61は、ユーザPC3からインターネット1を介して購買情報の閲覧要求がなされた場合に、購買情報データベース62における閲覧要求したユーザPC3のユーザに割り当てられた記憶領域に格納された購買情報を抽出するとともに、当該ユーザに応じた広告情報を広告情報データベース63から抽出する。これらの抽出した情報に基づいて、購買日時、購買商品、購買金額等の購買に関する情報を家計簿形式に編集する処理を行い、編集した家計簿形式の購買情報や、上記店舗4で作成された広告情報や広告情報データベース63から抽出した広告情報を表示させるHTML形式のWebページを作成し、これをインターネット1を介してユーザPC3に送信する。これにより、ユーザPC3には上記のように購買情報提供サーバ61によって作成されたWebページがダウンロードされ、表示部124には家計簿形式の購買情報や広告情報が表示されるようになっている。

【0040】B. 実施形態の動作

次に、上記構成のネットワークシステムにより実現される購買情報を提供するネットワークサービス実施時の各構成要素の動作について説明する。ここでは、ユーザPC3のユーザが店舗4で商品の購買等を行った後、家2に戻りユーザPC3を利用して購買情報を閲覧等する場合を例に挙げ、上記ネットワークシステムの各構成要素の処理動作について図4を参照しながら説明する。

【0041】まず、ユーザが店舗4において何らかの商

品を購入する場合、当該購買についてレジスター7において清算処理が行われる。ここでの清算処理は、通常の一般的なレジスターによる清算処理と同様であり、レジスター7への購買内容、すなわち購買商品名、数量、金額等の入力作業が行われる。ここで、購買内容のレジスター7への入力作業は、手入力で行うことも可能であるが、購買する商品のパッケージ等に添付されたバーコードシール等をレジスター7に搭載されたバーコードリーダで読み取るといった手法が一般的に用いられる。このように購買に関する情報が読み取られると、レジスター7における清算処理と並行して、読み取られた購買情報がレジスター7から店舗PC5に送信される。

【0042】レジスター7においてクレジットカードを使用した支払い、もしくは現金による支払いが行われると、支払方法を示す情報や、クレジットカードでの支払いの場合にはクレジットカード番号や引き落とし日などの情報がレジスター7によって生成され、この情報が店舗PC5に送信される。レジスター7は、このように取得した購買に関する各種情報を店舗PC5に送信するとともに、取得した購買情報を用いて清算処理を行い、当該購買情報を記述したレシートを作成する。

【0043】上述したようにレジスター7による清算処理が行われている間、店舗PC5のユーザ認識部230によって購買を行っているユーザを特定するためのユーザ情報が生成される。ここで、ユーザ認識部230によるユーザの認識方法は、当該サービスの会員カード等に記述されたユーザIDを読み取るといった手法や、バイオメトリクス技術を利用して行うことができる。店舗PC5は、上記のようにユーザ情報を生成するとともに、レジスター7から送信された購買に関する情報、広告情報および付加情報を含む購買情報を作成する(ステップS a 1)。

【0044】店舗PC5は、上述したようにユーザ情報および購買情報を作成すると、これらの情報を対応付けてインターネット1を介してサービスセンタ6に送信する(ステップS a 2)。ここで、店舗PC5からサービスセンタ6へのユーザ情報および購買情報の送信タイミングは、ユーザによって購買がなされて購買情報が作成される毎に逐次行うようにしてもよいが、通信データのトラフィック量を低減するために、所定時間内(例えば、30分)に作成された購買情報およびユーザ情報を対応付けてハードディスク223に格納しておき、30分毎に格納されている購買情報およびユーザ情報をまとめてインターネット1を介してサービスセンタ6に送信するようにしてもよい。

【0045】店舗PC5からインターネット1を介して送信される購買情報およびユーザ情報を受信したサービスセンタ6では、購買情報提供サーバ61における受信したユーザ情報によって特定されるユーザに割り当てられた記憶領域に、受信した購買情報を格納する(ステッ

プS a 3)。

【0046】この後、店舗4での購買を終えたユーザは、家2に戻りユーザPC3を用いて購買情報を取得することができるが、この際、まずユーザPC3においてブラウザソフトウェアを起動し、インターネット1を介してサービスセンタ6が提供するWebページのトップページ(ホームページ)にアクセスする。これによりサービスセンタ6側から当該ホームページが送信され、ユーザPC3の表示部124には、図5に例示するようなホームページ画面が表示される。同図に示すように、この画面には、当該サービスの概要を説明する概要説明欄50、当該サービスの会員登録を行うための会員ボタン51、および既に会員になっているユーザが購買情報の閲覧要求を行うための入力欄52が表示されており、欄52の下方側には閲覧要求をサービスセンタ6に指示する際にクリックする閲覧ボタン53が表示されている。

【0047】会員登録を行っていないユーザが会員登録をする場合には、会員ボタン51をクリックすることになる。会員ボタン51がクリックされると、当該PCのCPUはその旨をサービスセンタ6側に送信し、サービスセンタ6側からは会員登録のためのWebページが送信される。ここで、会員登録のためのWebページには、ユーザの氏名、住所、電話番号、嗜好情報等の個人情報を入力する欄が表示され、これらを適宜入力して会員登録を行うことになる。このようにして会員登録がなされると、上述したように購買情報提供サーバ61に当該ユーザの記憶領域が割り当てられるとともに、個人情報が格納される。また、ユーザIDやパスワードが発行され、これらがユーザに通知されるといった処理も行われる。

【0048】ユーザが既に会員登録を行っているユーザであり、当該ユーザが購買情報を取得する際には、入力欄52にユーザIDおよびパスワードを入力し、閲覧ボタン53をクリックすることになる。このように閲覧ボタン53がクリックされると、店舗PC5のCPU220は、入力されたユーザIDおよびパスワードを含む閲覧要求情報をインターネット1を介してサービスセンタ6側に送信する(ステップS a 4)。

【0049】ユーザPC3から送信された閲覧要求情報を受信したサービスセンタ6側では、購買情報提供サーバ61がユーザIDおよびパスワードを用いて認証処理を行う。ここで、認証処理の結果、正当なユーザからの閲覧要求であると判断された場合には、購買情報提供サーバ61はユーザPC3に送信するためのWebページを作成する(ステップS a 5)。ここで、ユーザPC3に送信するWebページの作成は、購買情報データベース62における当該ユーザに割り当てられた記憶領域に記憶された購買情報を読み出し、後述する家計簿表示形式に編集・集計する処理等を行う。また、購買情報データベース62に格納されているユーザの過去の購買情報

から、当該ユーザの購買傾向などの分析処理を行う。そして、当該分析結果と、予め格納されているユーザの個人情報とに基づいて広告情報データベース 63 に格納されている広告情報の中からユーザの購買傾向や嗜好にあった広告情報を抽出し、上記家計簿形式の購買情報に加え、抽出した広告情報が表示されるような Web ページを作成する。

【0050】購買情報提供サーバ 61 は、閲覧要求をしてきたユーザに応じた購買情報等を表示する Web ページを作成すると、これをインターネット 1 を介してユーザ PC 3 に送信する（ステップ Sa 6）。購買情報提供サーバ 61 からインターネット 1 を介して送信された Web ページを受信したユーザ PC 3 の表示部 124 には、例えば図 6 に示すような画面が表示される（ステップ Sa 7）。

【0051】同図に示すように、サービスセンタ 6 から送信された購買情報の表示画面には、日付を表示する日付表示欄 70 と、日付表示欄 70 に表示された日付の家計簿を表示する家計簿表示欄 71 と、過去一ヶ月間の支出の推移を示すグラフ表示欄 72 と、広告情報を表示する広告表示欄 73 とが表示されている。

【0052】日付表示欄 70 は、上述したように家計簿表示欄 71 に表示される家計簿の日付を表示する機能とともに、ユーザが日付表示欄 70 に所望の日付を入力して入力ボタン 74 をクリックすることにより、その日付データがインターネット 1 を介してサービスセンタ 6 側に送信され、サービスセンタ 6 からその日付の家計簿を表示するための Web ページが送信されることになる。

【0053】家計簿表示欄 71 には、ユーザがその日に購買した「時刻」、「店舗」、「商品名」、「数量」、「単価」、「合計金額」、「備考」といった欄が表示される。ここで、「備考」には、例えば食品を購入した場合に、その賞味期限や、その食品を次に購入する予定日等の付加情報が表示される。次に購入する予定日は、例えば、「卵」の場合、そのユーザの家族構成や今回購買した数量などから、卵が無くなると考えられる日付を算出して表示するものであり、ユーザはこれを目安として買い物等を行うことができる。また、「備考」欄には、上記のような賞味期限等に限らず、例えばその商品の価格の過去の推移状況（例えば、価格が上昇気配であるといった情報や底値になったなど）を表示するものであってもよい。

【0054】また、家計簿表示欄 71 には、ユーザがユーザ PC 3 の操作部 126 を操作して各項目について入力を行えるようになっている。これは、ユーザが買い物をする店舗は、上述したように購買情報を作成してサービスセンタ 6 にアップロードするといった契約がなされている店舗とは限らず、このようなサービスを行わない店舗で買い物をするものも考えられる。このようなケースを考慮し、その店舗において発行されたレシートを参

照し、ユーザが家計簿情報を手入力することができるようになされており、手入力が終了した後、入力ボタン 74 をクリックすると、入力された情報がユーザ PC 3 からインターネット 1 を介してサービスセンタ 6 側に送信される。そして、購買情報データベース 62 におけるこのユーザ購買情報が記憶内容に入力された情報が追加されるようになっている。

【0055】グラフ表示欄 72 には、過去一ヶ月間の日毎の支出の推移が表示されるようになっており、ユーザはこれを参照することにより支出の推移を知ることができるようになっている。

【0056】広告表示欄 73 には、上述したように購買情報提供サーバ 61 で抽出された広告情報や、店舗 PC 5 で作成された購買情報に含まれる広告情報が表示されるようになっている。ここで、広告表示欄 73 に表示される広告情報は、店舗 PC 5 で店舗 4 内でのユーザの購買内容に応じて抽出されたものであり、また購買情報提供サーバ 61 によって過去のユーザの購買傾向や個人情報に応じて抽出されたものである。したがって、広告表示欄 73 に表示される広告は、ユーザの嗜好やユーザの購買傾向に合致したものであり、ユーザにとっては有益な情報である可能性が高く、広告を出す店舗側にとっても効果的な広告であるといえる。

【0057】また、家計簿表示欄 71 の上方側には、収支ボタン 75、入力ボタン 74、分析ボタン 76、印刷ボタン 77 およびダウンロードボタン 78 が表示されている。収支ボタン 75 がクリックされると、その旨がユーザ PC 3 からインターネット 1 を介してサービスセンタ 6 の購買情報提供サーバ 61 に供給され、購買情報提供サーバ 61 は当該ユーザの月間収支や年間収支等を算出し、この収支を表示する Web ページをユーザ PC 3 に送信する。分析ボタン 76 がクリックされると、その旨がユーザ PC 3 からインターネット 1 を介してサービスセンタ 6 の購買情報提供サーバ 61 に供給され、購買情報提供サーバ 61 は当該ユーザの過去の購買傾向等を分析し、その分析結果を表示する Web ページをインターネット 1 を介してユーザ PC 3 に送信する。なお、購買情報データベース 62 の記憶容量に制限がある場合には、所定期間、例えば 3 ヶ月を経過した購買情報については消去するようにしてもよい。この場合には、年間収支の算出はできないため、最長三ヶ月間の収支の算出となる。また、上記のように購買情報を消去することによりデータ量を削減する以外にも、所定期間（例えば、3 ヶ月）を経過した購買情報については、詳細な情報を全て格納するのではなく、要約した情報のみを格納するようにしてもよい。ここで、購買情報を要約化する手法としては、商品単位で管理していた情報を、商品の分類項目（例えば、食品、衣類、電化製品といった分類）毎の情報に変換して格納するようにする方法などを用いることができる。このように購買情報を要約化すれば、3 ヶ

月以上前の購買情報に応じた分析や集計等（例えば、過去1年間の集計など）も行うことが可能となるとともに、保持しておくデータ量を大幅に削減することも可能となる。

【0058】入力ボタン74は、上述したように家計簿表示欄71に手入力した内容を反映させる場合や、日付表示欄70に日付を入力した場合などにクリックされる。印刷ボタン77は、表示されている画面の印刷等を指示するボタンであり、印刷ボタン77がクリックされると、ユーザPC3のCPU120は、接続されているプリンタに当該画面を印刷するための印刷データを出力する。ダウンロードボタン78は、現在表示されている購買情報をファイル化（例えば、テキストファイルや所定のアプリケーション上で参照できるファイル形式）して購買情報データベース62からユーザPC3にダウンロードすることを指示するボタンである。

【0059】本実施形態では、ユーザは店舗4で購買をした場合、自動的にその購買に関する様々な情報がサービスセンタ6の購買情報データベース62における当該ユーザ専用の記憶領域にアップロードされ、ユーザがユーザPC3を用いてインターネット1を介してサービスセンタ6にアクセスすることにより、その購買情報を参照することができる。この際、購買情報は購買情報提供サーバ61によって一般的な家計簿ソフトウェアを使用した場合と同様の家計簿形式に表示され、さらに月間収支や購買傾向の分析などの結果も参照することができるようにになっている。したがって、ユーザはユーザが所持するユーザPC3に家計簿ソフトウェアをインストールする必要がなく、ブラウザソフトウェアを起動してインターネット1にアクセスできる環境にあれば、ユーザPC3の表示画面で家計簿を表示参照することができる。この際、表示される家計簿の各データは、店舗4で購買を行った際に店舗PC5等によって自動的に作成されたものであり、ユーザが商品名、金額、数量等の購買に関する多種の情報を入力する必要もない。したがって、入力ミスが無くなり、正確な購買情報を閲覧等して利用できるとともに、その購買情報の取得も容易である。

【0060】また、購買情報は上記のように家計簿形式で表示されるだけではなく、ファイル化してユーザPC3にダウンロードすることもできるようになっている。したがって、ユーザPC3が家計簿ソフトウェアや表計算ソフトウェア等を別に使用している場合にも、当該ソフトウェア上でそのファイル化された購買情報を利用すれば、キーボード等の操作部126を操作して購買に関する様々な情報入力を行うといった手間を省くことができる。また、当該サービスを利用することによって、ユーザは上記のような効果を得ることができるため、ユーザは、このサービスを利用することが可能な店舗で購買をする可能性が高くなる。すなわち、店舗側にとっても顧客を囲い込めるといった効果が得られる。また、この

サービスの契約ユーザに対しては、レシートを発行しないといったことも可能となり、紙資源の削減となり、コスト的な効果に加え、環境保護の観点からも効果が得られることになる。

【0061】C. 変形例

なお、本発明は、上述した実施形態に限定されるものではなく、以下に例示するような種々の変形が可能である。

【0062】（変形例1）上述した実施形態において10 は、会員となっている各ユーザ毎に購買情報データベース62に記憶領域が用意されており、当該ユーザの購買に関する情報が蓄積されるようになったいたが、店舗4で購買が行われた際に、当該購買毎に購買情報データベース62の記憶領域を用意し、当該購買についてのみの購買情報を格納するようにしてもよい。この場合、店舗4において購買が行われ、店舗PC5が購買情報を作成する毎に、その購買情報を取得するためのユーザIDとパスワードを発行してレシート等に印刷する。そして、ユーザが当該購買に関する購買情報をユーザPC3にダ20 ウンロードする場合には、サービスセンタ6に上記レシートに印刷されたユーザIDおよびパスワードを用いてアクセスし、これにより購買情報データベース62に記憶された上記購買に関する購買情報をダウンロードすることができる。

【0063】（変形例2）また、上述した実施形態においては、店舗PC5とサービスセンタ6とがインターネット1を介して接続されるようになっていたが、これらを専用回線で接続するようにしてもよい。また、サービスセンタ6は、店舗4内に設置するようにしてもよい。

30 【0064】（変形例3）また、上述した実施形態においては、ユーザはユーザPC3を利用して当該ネットワークサービスを利用するようになっていたが、PC以外にもブラウザ機能を備えた端末装置を用いることができ、例えばブラウザ機能を備えた携帯電話等を利用することも可能である。もちろん、携帯型PCなどのブラウザ機能を備えた携帯型情報端末を使用すれば、外出先において、購買情報を閲覧することが可能である。

【0065】（変形例4）また、上述した実施形態においては、サービスセンタ6の購買情報提供サーバ61や40 購買情報データベース62が当該ネットワークサービスを実施するための処理を行うプログラムが予めインストールされている場合について述べたが、本発明はこれに限らず、上述したプログラム群の格納されたCD-ROM (Compact Disc-Read Only Memory)、DVD-ROM (Digital Versatile Disc-Read Only Memory) 等の過般型記録媒体を再生することにより上記プログラムをコンピュータシステムにインストールするようにしてもよい。

50 【0066】（変形例5）また、上述した実施形態においては、レジスター7と店舗PC5が別体としてあり、

これらが所定のインターフェースを介して接続されるような形態となっていたが、これに限らず両者の機能を一体化した装置として構成してもよい。

【0067】(変形例6) また、上述した実施形態においては、レジスター7が設置された店舗4の店舗PC5において購買情報が作成されてサービスセンタ6側にアップロードされるようになっていたが、本発明にいう店舗とは、自動販売機を含むものである。したがって、自動販売機に上記店舗PC5と同様の機能を持たせるようにすれば、ユーザが当該自動販売機で商品等を購買した場合にも、その購買情報をサービスセンタ6からダウンロードして利用できるようになる。

【0068】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明によれば、ユーザが商品等を購買した場合に、当該購買に関する情報をユーザが容易かつ正確に利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態に係る購買情報供給方法を利用したネットワークサービスを実施するネットワークシステムの全体構成を示す図である。

【図2】 前記ネットワークシステムの構成要素であるユーザPCの構成を示すブロック図である。

【図3】 前記ネットワークシステムの構成要素である

店舗PCの構成を示すブロック図である。

【図4】 前記ネットワークサービス実施時における前記ネットワークシステムの各構成要素の処理動作シーケンスフローチャートである。

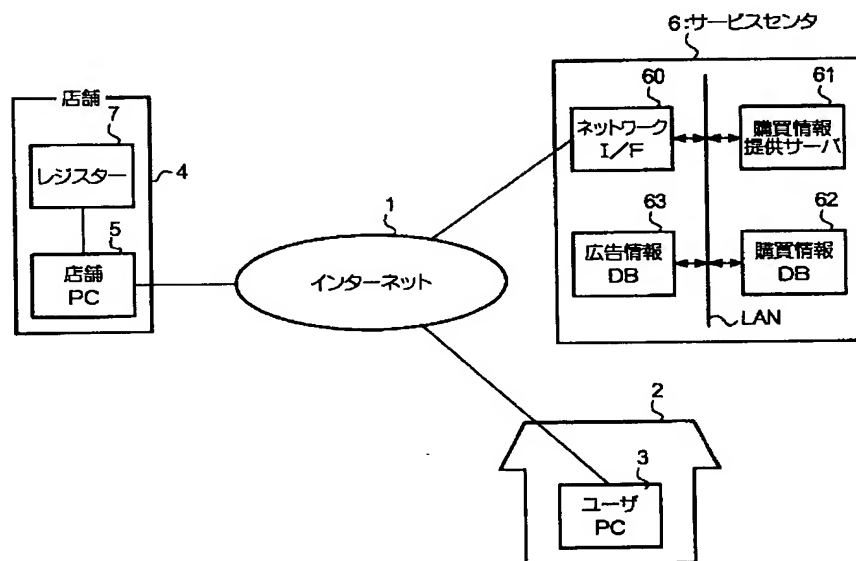
【図5】 前記ネットワークサービス実施時における前記ユーザPCの表示部に表示される画面を示す図である。

【図6】 前記ネットワークサービス実施時における前記ユーザPCの表示部に表示される画面を示す図である。

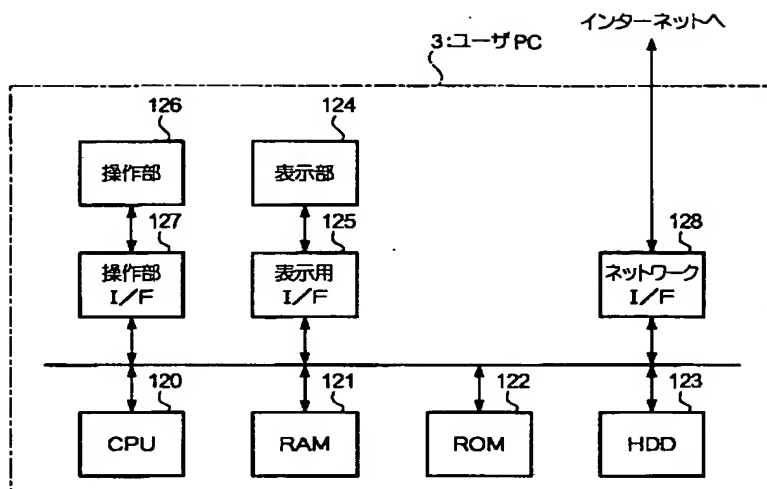
【符号の説明】

- 1 ……インターネット
- 2 ……家
- 3 ……ユーザPC
- 4 ……店舗
- 5 ……店舗PC
- 6 ……サービスセンタ
- 7 ……レジスター
- 60 ……ネットワークインターフェース
- 61 ……購買情報提供サーバ
- 62 ……購買情報データベース
- 63 ……広告情報データベース

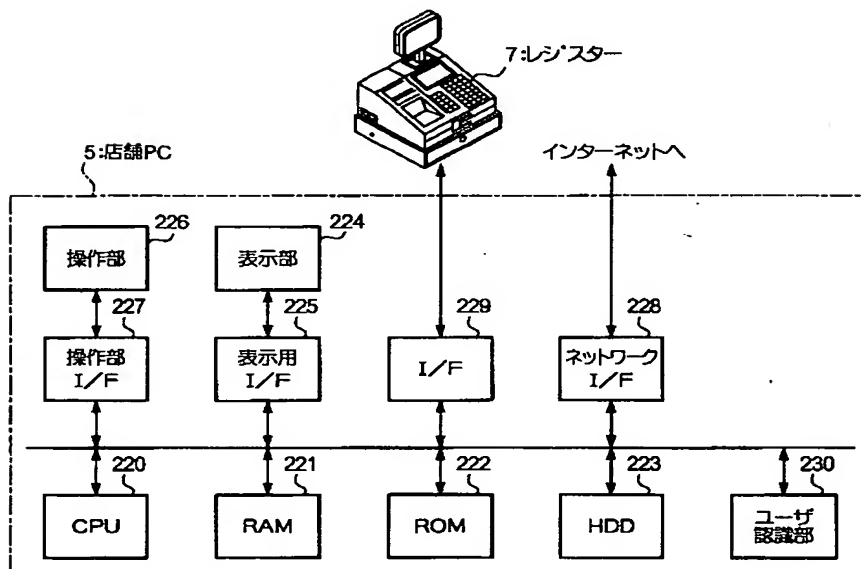
【図1】



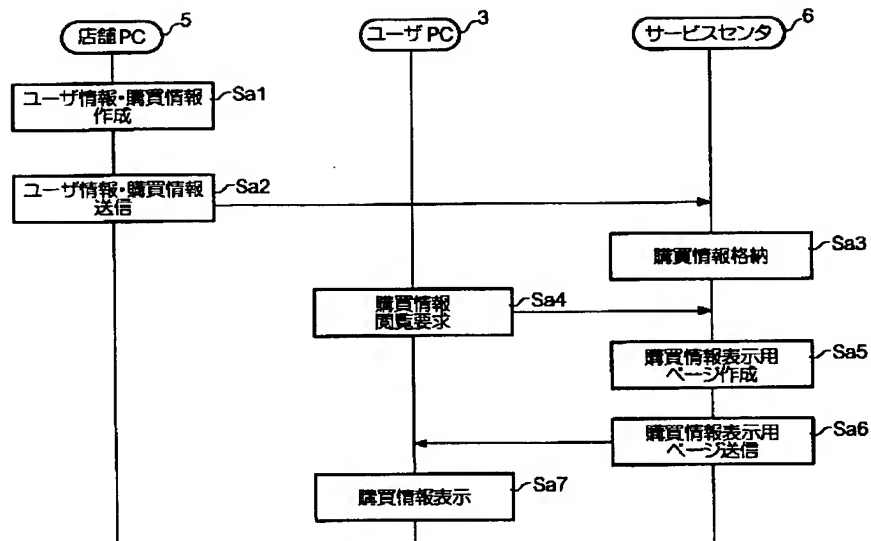
【図 2】



【図 3】



【図4】



【図5】

購買情報提供サービスへようこそ

50 { ・購買情報提供サービスとは、お客様が店舗でお買い物をなされた場合に、その買い物内容を家計簿形式のデータとしてお客様に提供するものです。このサービスでは、……

・会員登録を行う場合には、登録ボタンをクリックしてください。

登録 ~ 51

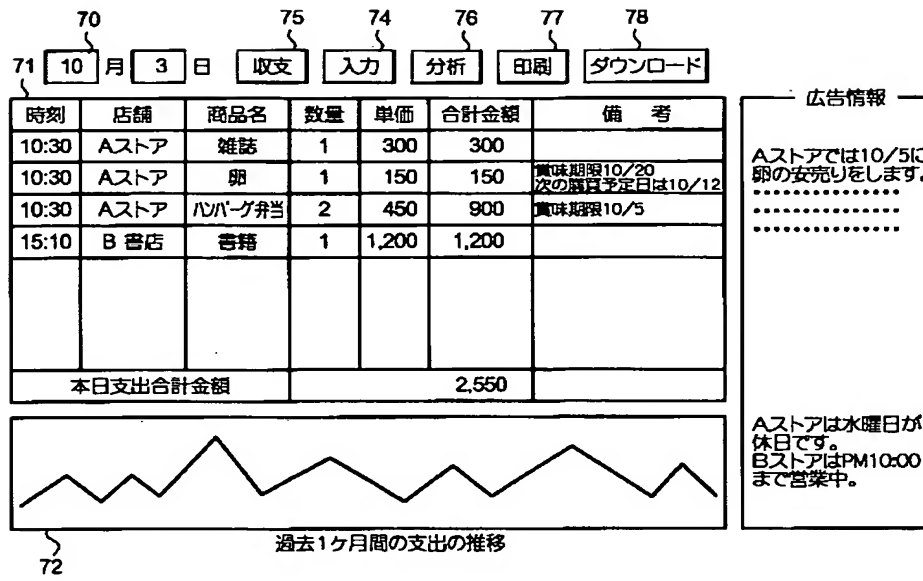
52 { ・会員のお客様が家計簿形式の購買情報を閲覧する場合には、ユーザIDおよびパスワードを入力して閲覧ボタンをクリックしてください。

ユーザID:

パスワード:

閲覧 ~ 53

【図6】



THIS PAGE BLANK (USPTO)